

公明党

賛成

○一般会計決算および4特別会計決算について賛成します。

海老名駅西口地区においてまち開きが実現、新しく「扇町」が誕生。中央図書館のリニューアルオープンや小田急ロマンスカー海老名駅停車が実現するなど、長年の希望がかたちになった年でありました。歳入総額は4年連続で増加、歳出では民生費・土木費・教育費が昨年度より増加しました。

「輝け！未来へ！はばたくえびなっ子」をキャッチフレーズに子ども子育て世代に優しい事業に重点が置かれ、7回にわたる補正予算を含め、機動的な予算編成を行い、各事業の充実と確実な実行をされてきたものと評価します。

新規事業においても、市外の子育て世代に向けてのプロモーション動画の作成、不妊・不育症治療に対する助成、通学路への各学校区2基の防犯カメラの設置、新入学時の教材費支援、小中一貫教育の推進、緊急輸送補完道路確保事業、可搬ポンプなど消防団資機材の充実、防災ラジオ、防災マップ・土砂災害ハザードマップの作成・配布、生活困窮者自立支援事業、相鉄海老名駅の駅舎改良と北口改札に向けた事業の推進、交通渋滞対策など、多くの事業を実行されており、関係各位のご苦勞に最大の敬意を表します。

日本共産党

反対

○4特別会計決算には賛成しますが、一般会計決算には反対します。

小児医療費助成が中学校3年生まで、所得制限や費用の一部負担もなく、平成27年度においても引き続き実施されたことや、各種がん検診を実施し、特に「肺がんCT検査」で疾病の早期発見・治療につながったこと、「防災ラジオ」の同年度からの導入など、必要な諸施策が着実に進められた点は評価します。

しかしながら、「中央図書館」に関して、27年10月のリニューアルオープン直後のCCC社・TRC社間の関係解消をめぐる問題、資料の分類、選書や会計運営上などの諸問題が次々と露呈し、市民や利用者に波紋や心配を生じさせました。指定管理者制度ではなく、市が責任を持って管理、運営する体制への回復を求めます。

また、同年8月から「食の創造館」が指定管理者制度へ移行されました。民間事業者による利益優先の運営や業務従事者の待遇低下、業務体制の不安定化の恐れがあります。安全・安心な小学校給食などを子どもや市民に提供するため、市が責任を持って運営する体制に戻すべきです。



食の創造館

常任委員会の行政視察を実施しました

常任委員会と特別委員会では年1回先進的な取り組みなどを学ぶため行政視察を行っています。本市議会には3つの常任委員会が置かれていますが、10月に次のとおり行政視察を実施したのでその概要を報告します。詳細につきましては、平成29年2月1日発行予定の議会だより第182号に掲載予定です。

総務常任委員会

(1) 日程

10月5日～7日

(2) 視察先および視察内容

① 徳島県徳島市

地域の絆づくり支援事業について

② 香川県さぬき市

定住奨励事業について

③ 香川県高松市

機能別分団について

文教社会常任委員会

(1) 日程

10月12日～14日

(2) 視察先および視察内容

① 長崎県長崎市

地域包括ケアまちなかラウンジについて

② 福岡県久留米市

生活困窮者自立支援制度（子どもの学習支援事業）について

③ 福岡県春日市

自殺対策事業について

③ 福岡県春日市

経済建設常任委員会

(1) 日程

10月18日～20日

(2) 視察先および視察内容

① 滋賀県彦根市

商業の活性化について（商業振興基本条例）

② 京都府亀岡市

農業振興支援について

③ 大阪府東大阪市

住工共生のまちづくり事業について



視察の様子（総務常任委員会）